

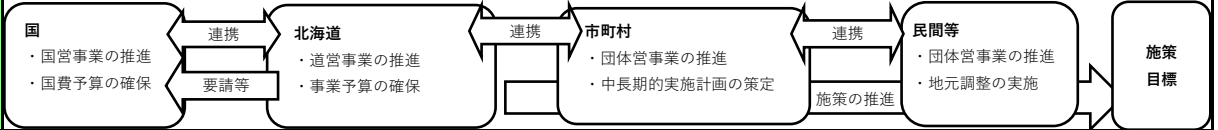


<b>令和3年度 基本評価調書①</b>		所管部局	農政部	所管課	農村設計課、事業調整課、農業施設管理課、農村計画課、農地整備課、農村整備課	
施策名	農業農村整備の推進			施策コード	06042	
政策体系(中項目)	農林水産業の持続的な成長			政策体系コード	2(1)A	
知事公約	C0134	総合戦略	A3241	国土強靱化	B4211	事務事業数 92
SDGs	 			総合判定	概ね順調	

**【1 Plan】**

施策目標	地域の個性や創造力を活かした農業・農村の持続的発展に向けて「いのちの源「食」の生産をささえる」「多様な担い手と地域をささえる」「豊かな農村環境をささえる」の3つを整備の基本方針とし、地域の実情に即した生産基盤等の計画的な整備を進める。					
現状と課題	農家戸数の減少や高齢化の進行、農村コミュニティ機能低下の懸念、グローバル化の進展など、本道の農業・農村を取り巻く情勢が大きく変化している中、我が国最大の食料供給地域である北海道の役割を果たすため、農業農村整備を計画的・効果的に推進することが重要である。					
主な取組	水田地帯の生産基盤整備（用排水施設の改良や客土等の土層改良、ほ場の大区画化等）や、畑地帯の生産基盤整備（排水路や暗渠排水、土層改良、畑地かんがい等）、酪農地帯の生産基盤整備（草地整備等）のほか、市町村と連携した農家負担軽減対策を実施					
予算額(千円)	R3	71,036,719千円	R2	73,143,806千円	R1	76,577,117千円
施策のイメージ						

**＜成果指標の達成状況＞ ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載**

指標名①	増加	%	H28年度	H29年度	H30年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
食料自給率(カロリーベース)	目標値		212	217	222	258	88.3%	C
	実績値		185	206	196			
設定理由	北海道総合計画における政策の方向性「潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり」の観点から指標として設定。(最終目標は総合計画の値)							
分析(主な取組と成果)								
平成30年度は、低温や多雨、日照不足など天候不順の影響により、主な農作物の生産量が前年に比べ減少したため、食料自給率が低下した。								

指標名②	維持	億円	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
農業産出額(暦年)	目標値		11,675	11,675	11,675	11,675以上	107.6%	A
	実績値		12,762	12,593	12,558			
設定理由	全道で生産される米麦等の耕種及び生乳や肉用牛等の畜産による産出額。北海道創生総合戦略に基づき、需要に応じた農畜産物の安定供給に向けた取組の進捗状況を測る指標として設定。							
分析(主な取組と成果)								
農畜産物の安定供給に向けた継続的な取組により、目標値を超える1兆2千億円台で推移している。部門別では生乳をはじめとする畜産物で増加の傾向にある。								

指標名③			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							
設定理由								
分析(主な取組と成果)								

令和3年度 基本評価調書②	施策名	農業農村整備の推進	施策コード	06042
---------------	-----	-----------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
成果指標	食料自給率（カロリーベース）	185	206	196	222	C
	農業産出額（暦年）	12762	12,593	12,558	11,675	A
目標（指標）の達成状況	平成30年度は、天候不順の影響により、主な農作物の生産量が前年に比べ減少したことから、食料自給率、農業算出額ともに減少したが、農業産出額は、食料の安定供給に向けた継続した取組により目標値を超える値で推移している。				指標総合判定	B
連携状況	道庁内各部との「社会資本整備推進会議」や開発局との「北海道農業農村整備事業連絡協議会」への参画により、効率的な整備の推進や情報共有などを図っている。各団体からの要請対応などにより、道民からのニーズを把握し、施策推進に役立っている。				連携判定	○
緊急性優先性	農業の生産力・競争力の強化に不可欠な農業農村整備事業を計画的かつ着実に推進するため、当初予算をはじめとした予算総額を安定的に確保するよう、農林水産省に対して各種提案を行っている。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	農業の生産力・競争力の強化に不可欠な農業農村整備事業を計画的かつ着実に推進することにより、社会情勢や道民の要望等を踏まえた課題に対応し、効果的な取組が行われている。				総合判定（一次評価）	概ね順調

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	本道農業の強みを活かす取組を加速化し、生産力・競争力の強化を図るため、生産の効率化を図る水田の大区画化や暗渠排水などの排水対策、老朽化した農業用施設の適切な保全・整備、自給飼料の生産拡大を図る飼料生産基盤の整備等、農業農村整備を計画的かつ着実に推進するとともに、当初予算をはじめとした予算総額を安定的に確保するよう国に強く働きかけていく。
②		
③		

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	対応状況 (R3.3時点)
R3年度二次政策評価	

【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	本道農業の生産力・競争力の強化や、農村地域の強靱化、さらには農村の活性化を図る上で、ほ場の大区画化や農地の排水改良、老朽化した農業水利施設の長寿命化など、農業農村整備を計画的かつ着実に推進することが重要であることから、国に対し、必要な予算の安定的な確保を強く求めていく。

令和3年度 補助指標調書①	施策名	農業農村整備の推進	施策コード	06042
---------------	-----	-----------	-------	-------

【成果指標の達成状況】

補助指標名①	増加	%	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
食料自給率(カロリーベース) (再掲)		目標値	—	—	214	238		
		実績値						
設定理由	北海道総合計画における政策の方向性「潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり」の観点から指標として設定。(最終目標は総合計画見直し後の値)							
分析(主な取組と成果)								

補助指標名②			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析(主な取組と成果)								

補助指標名③			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析(主な取組と成果)								

補助指標名④			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析(主な取組と成果)								

補助指標名⑤			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析(主な取組と成果)								

